

大平地域包括支援センター 担当

- ✚ 日 時： 令和6年7月17日（水）午後1時30分～1時50分
- ✚ 会 場： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室
- ✚ 事例数： 1ケース（令和5年11月15日検討した事例の振り返り）
- ✚ 参加者数： 8名

〔事例提供者1名、助言者5名、包括職員2名〕

心身機能の維持に積極的な81歳女性

〈目標〉1日: 経理の仕事を行いながら、趣味、興味があるものに取り組める。

1年: 楽しみながらリハビリを継続し、筋力や体力の維持ができる。

利用サービス: 通所リハビリテーション、福祉用具貸与

《前回会議での支援策》

支援方針: 編み物や旅行などの趣味を通して、楽しみを持ちながらリハビリを行えるよう支援していく。

また、主治医変更への不安な気持ちに寄り添いサポートを行う。

- ① 本人の気持ちを確認しながら地域の病院に繋げて行く。
- ② 定期的な歯科受診の継続支援を行う。
- ③ 現在の内服薬の他に薬が追加処方された場合には、体調の変化に注意する。
- ④ 編み物や旅行など、趣味を通して楽しみを持ちながらリハビリを行ってもらおう。
- ⑤ 食事動作時に手指のこわばりの状態を確認し、必要に応じて声掛けやアドバイスを行う。
- ⑥ 地域社会資源の通いの場への移動方法は、蔵タクが選択肢として考えられる。

《支援結果・状況》

①～⑤達成

- ・地域の顔なじみの医師が主治医になり、安心して生活を送っている。
- ・主治医の変更に伴い大学病院の受診が終了し、同時に内服薬も終了となったが、体調不良無く過ごすことができている。
- ・週2回のリハビリは継続できており、移動動作も安定してきている。1本杖を購入し、外出の機会も増え、趣味の旅行へ行く目標も叶えられそうである。また、手指のこわばり予防のために洗濯バサミを使用した生活リハビリ行ったことにより箸を使用して食事ができるようになり、栄養状態も良好で体重管理もできている。

⑥未達成

- ・通いの場への外出が難しい様であれば、傾聴ボランティアを利用して他者との交流を深めていく事が出来ると考えられるため、利用検討時には社会福祉協議会へ相談。